

第9回厚生労働省 ICF シンポジウムの報告

主 催： 厚生労働省
テ ー マ： ICD-11とICF 利活用の新たなステージを展望する
～様々な現場における共通言語をめざして～
日 程： 令和3年2月20日（土） 13:00～15:00
会 場： オンライン開催
参加人数： 約 200 人

当日プログラム：

開会挨拶
鈴木 英二郎（厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当））
WHO 担当官からのビデオメッセージ

基調講演
ICF の可能性と活用法
才藤 栄一
（藤田医科大学学長）

講演（モデレーター 出江紳一：東北大学大学院医工学科教授）

ICF の改正改訂に関わる最新の動向
山田 深 （杏林大学医学部リハビリテーション科教授）

ICD-11「第 V 章」の国内適用に向けた実用的な臨床ツールの作成とフィールドテストの実施～ICF の概念に基づく患者中心の生活機能評価～
向野 雅彦（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座准教授）

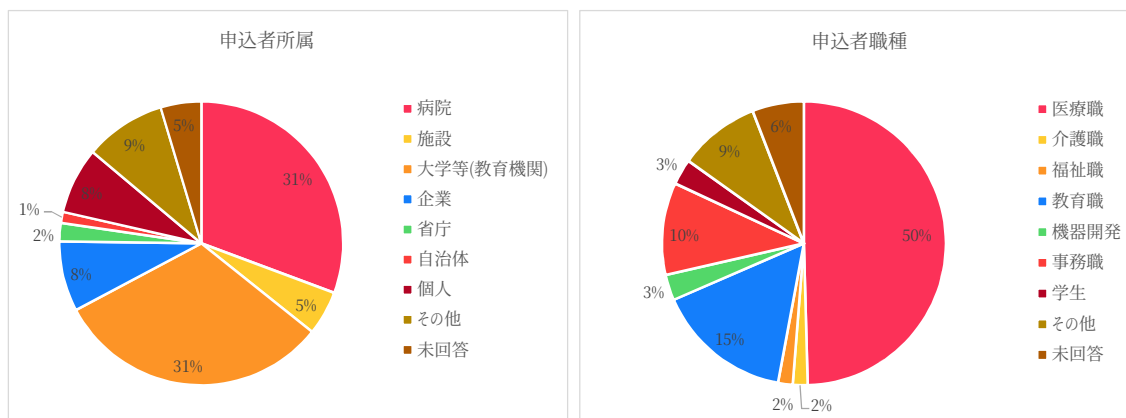
総合討論・質疑応答

ポスター紹介 共通言語としての ICF ～様々な活用事例～ 6 題

閉会挨拶
武藤 憲真（厚生労働省 参事官（企画調整担当））

事前アンケート

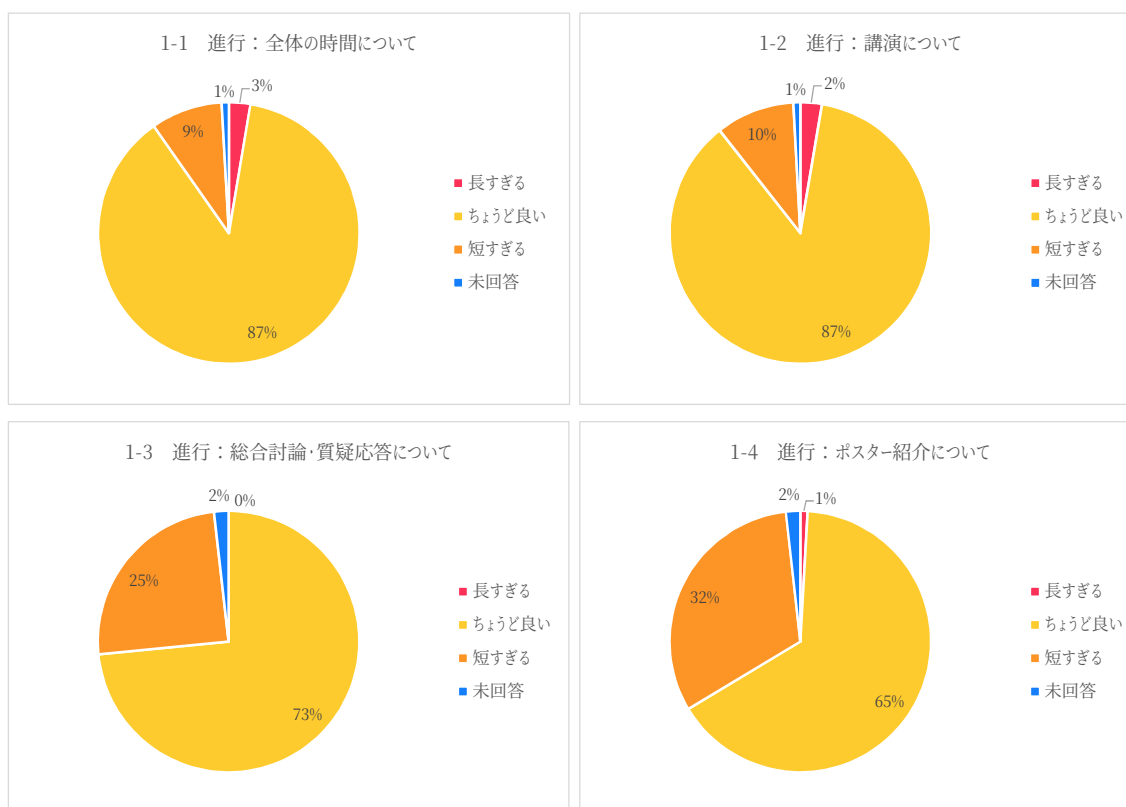
n=238



事後アンケート (中間報告)

n=113

1. 進行について



2. 感想

